

FULL HEIGHT DOOR®

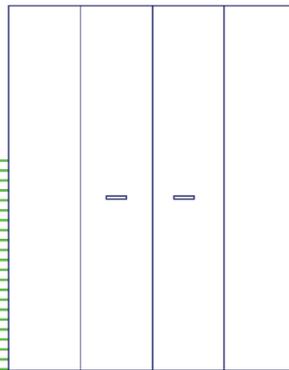
STEALTH MODE ステルス枠

フルハイトドア

# 施工手順書

クロゼット【折れ戸タイプ】

クロゼット  
折れ戸タイプ



# 施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



**注意**

## ● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。  
付属ビス以外で取り付けした場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



## ● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので、扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



## ● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。  
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。  
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。  
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

## ● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。  
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。  
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。  
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

# □ 2枚／4枚／3枚 固定折れ戸

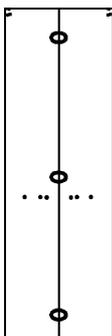
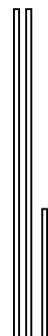
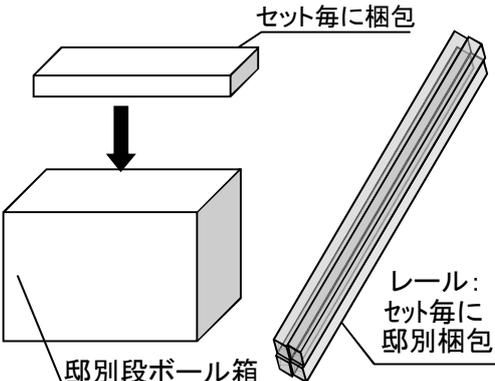
forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## ■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

<b>建具</b>			<b>取手付きは下記のいずれか</b>																															
<table border="1"> <tr> <th>部材</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>物入固定折戸</td> <td>1折れ</td> <td>2枚固定の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2折れ</td> <td>4枚固定の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1折+1枚</td> <td>3枚固定の場合</td> </tr> </table> <p>※ベースカップは取付済</p> 	部材	数量	備考	物入固定折戸	1折れ	2枚固定の場合		2折れ	4枚固定の場合		1折+1枚	3枚固定の場合	同	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>3ヶ</td></tr> </table>		2枚	1ヶ	4枚	2ヶ	6枚	3ヶ	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>3ヶ</td></tr> </table>		2枚	1ヶ	4枚	2ヶ	6枚	3ヶ					
	部材	数量	備考																															
	物入固定折戸	1折れ	2枚固定の場合																															
	2折れ	4枚固定の場合																																
	1折+1枚	3枚固定の場合																																
2枚	1ヶ																																	
4枚	2ヶ																																	
6枚	3ヶ																																	
2枚	1ヶ																																	
4枚	2ヶ																																	
6枚	3ヶ																																	
梱																																		
品																																		
<b>下地材</b>			<b>施工手順書</b>																															
<table border="1"> <tr> <th>部材</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>見切材</td> <td>2本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上枠下地</td> <td>1本</td> <td></td> </tr> </table> 	部材	数量	備考	見切材	2本		上枠下地	1本		同																								
	部材	数量	備考																															
	見切材	2本																																
上枠下地	1本																																	
梱																																		
品																																		
<b>下地金物箱</b>			<b>上部レール</b>	<b>上ローラー</b>	<b>下ローラー</b>	<b>固定金具</b>																												
<table border="1"> <tr> <th>部材</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>金物</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レール</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> </table>  <p>セット毎に梱包</p> <p>レール： セット毎に 邸別梱包</p>	部材	数量	備考	金物	1式		レール	1式		同	 <p>1本(付属ビス含む)</p>	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>4ヶ</td></tr> <tr><td>3枚</td><td>3ヶ</td></tr> </table>	2枚	2ヶ	4枚	4ヶ	3枚	3ヶ	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>3枚</td><td>2ヶ</td></tr> </table>	2枚	1ヶ	4枚	2ヶ	3枚	2ヶ	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>3枚</td><td>2ヶ</td></tr> </table>	2枚	1ヶ	4枚	2ヶ	3枚	2ヶ		
	部材	数量	備考																															
	金物	1式																																
レール	1式																																	
2枚	2ヶ																																	
4枚	4ヶ																																	
3枚	3ヶ																																	
2枚	1ヶ																																	
4枚	2ヶ																																	
3枚	2ヶ																																	
2枚	1ヶ																																	
4枚	2ヶ																																	
3枚	2ヶ																																	
梱		 <p>4枚用振止め金具</p> <table border="1"> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> </table>	4枚	2ヶ	 <p>3枚用振止め金具</p> <table border="1"> <tr><td>3枚</td><td>1ヶ</td></tr> </table>	3枚	1ヶ	 <p>上部マグネットキャッチ</p> <table border="1"> <tr><td>3枚</td><td>1ヶ</td></tr> </table>	3枚	1ヶ	 <p>打込スペーサー</p> <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>3枚</td><td>1ヶ</td></tr> </table>	2枚	1ヶ	4枚	1ヶ	3枚	1ヶ																	
4枚	2ヶ																																	
3枚	1ヶ																																	
3枚	1ヶ																																	
2枚	1ヶ																																	
4枚	1ヶ																																	
3枚	1ヶ																																	
品																																		

# □ 2枚 / 4枚 / 3枚 固定折れ戸

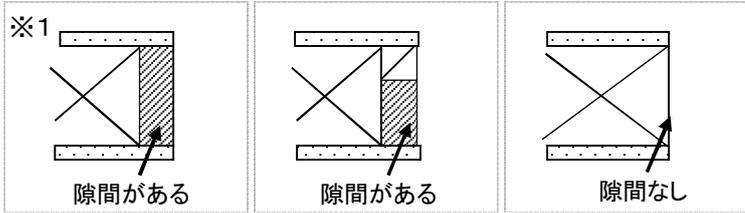
forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 1 施工前の確認事項

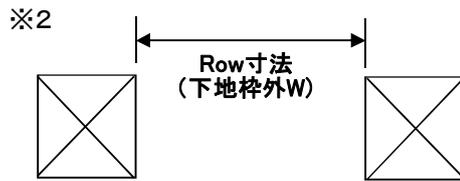
① 上枠下地・見切り材を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（見切り材は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



×

×

○



図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認



**注意**

※1：見切り材は躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、見切り材の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。  
 ※2：施工前のW寸法確認には、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。  
 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

## 2 上枠下地の取り付け

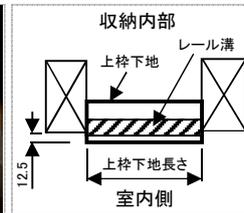
① 上枠下地を接着剤・取付ビス併用にてマグサに固定します。（断面の狭い方が開き側）  
 その際、上枠下地は壁のボード面からの位置となりますので、柱面からボード厚み分12.5mm前を出して取り付けてください。（長さは柱から柱の寸法となります）



下地裏面に接着剤全面塗布



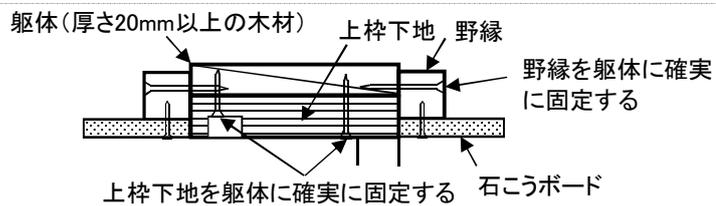
下地表よりビス固定



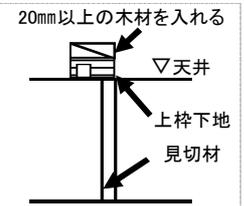
上枠下地の取り付け位置



② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さを確保して、野縁を躯体に固定  
 その後、野縁に石膏ボードを取付ける



上枠下地の裏には  
 20mm以上の木材を入れる

**注意**

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)  
 ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用してください。また、上枠下地をビス止める際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。  
 ※上枠下地の裏側には、必ず20mm以上の木材を入れてください。  
 ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。

# □ 2枚 / 4枚 / 3枚 固定折れ戸

forステルス枠

施工手順書2014/4更新

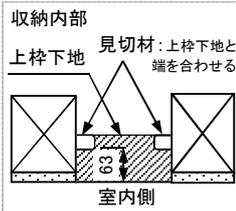
改訂2017/1

## 3 見切材の取り付け

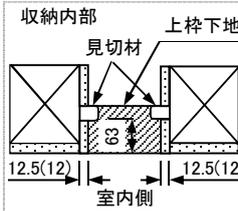
① 見切り材を金物箱に同梱のビスにて柱に固定します。取り付け位置はボード面から収納内部に63mm入った所に取り付けます。その際、上枠下地と見切り材の端が合うように取り付けてください。その後、両面から12mmの合板(現場手配品)、または12.5mmの石膏ボードを挟み込んでください。



見切り材の固定



見切り材取り付け位置



見切り材を両面から挟み込む  
(12mmまたは12.5mm)

**注意**

※見切り材を両側から挟み込む際、12mm、または12.5mm以外の物を取り付けると扉が納まらなくなる場合がありますので、注意してください。  
※収納内部に棚を設置する場合は、見切り材から10mm以上離れた位置から取り付けてください。

## 4 巾木・クロス施工(塗り壁の場合 別紙塗り壁仕様参照)

① 巾木を接着剤にて取り付けてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布



巾木の取り付け方



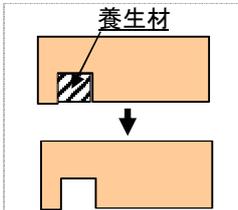
② パテ等の下地処理をした後で、クロスを貼ってください。(メッシュ→下塗り→上塗りをお奨めします)  
上枠下地にクロスを貼る際は、レール溝に入っている養生材を取り外してからクロスを貼ってください。



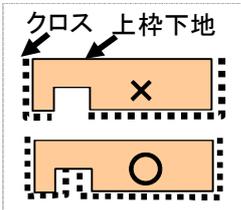
メッシュテープ貼り



パテ処理



養生材を取り外す



クロスの貼り方

**注意**

※巾木は厚さ7mm以上のものを使用すると、折れ戸の開閉時にあたる場合がありますので注意してください。  
※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き返してください。

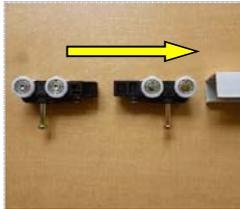
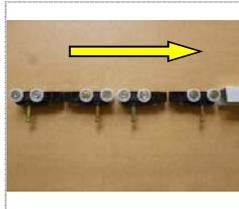
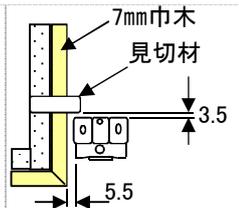
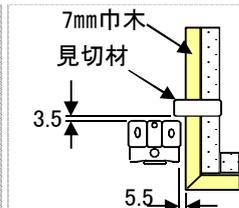
# □ 2枚／4枚／3枚 固定折れ戸

forステルス枠

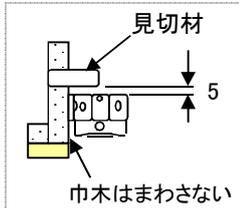
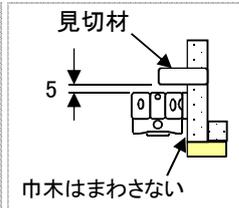
施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 5-1 上部レール・下部固定金具の取り付け

<p>① 上部レールを取り付ける前に、上部ローラー（3枚の場合は上部マグネットキャッチも）を上部レールの内部に挿入して、レールを取り付けます。 レール・上部ローラー・マグネットキャッチは別途、金物箱にあります。</p>	 <p>2枚固定の場合</p>	 <p>4枚固定の場合</p>	 <p>3枚固定の場合 （左側折戸・右側片開き）</p>	 <p>3枚固定の場合 （左側片開き・右側折戸）</p>
<p>② 下部固定金具を壁厚方向の巾木から5.5mm、見切材の手前から3.5mmの所に取り付けます。この設定は、壁面側に7mm巾木をまわす前提での設定となります。 下部固定金具は別途、金物箱にあります。</p>	 <p>下部固定金具の取付 （L勝手の場合）</p>	 <p>7mm巾木 見切材 3.5 5.5</p> <p>L勝手</p>	 <p>下部固定金具の取付 （R勝手の場合）</p>	 <p>7mm巾木 見切材 3.5 5.5</p> <p>R勝手</p>
<p><b>注意</b></p> <p>※下部固定金具は、床がフローア一等の木材の前後でビス固定となりますのでご注意ください。 ※4枚折戸・3枚折戸の場合は、左右対称の位置となります。</p>				

## 5-2 壁付用下部固定金具の取り付け（別途単品手配品）

<p>① 納まりのR/Lの勝手を確認して、L勝手の場合は金物の組み替えを行ってください（納入時はR勝手にて納入されます）。 ※金物は別途単品にて手配ください。</p>	 <p>L勝手の場合は前後調整の ビスを外す</p>	 <p>型プレート 本体 本体からL型プレートを 外す</p>	 <p>L型プレート 本体 L型プレートの向きを 逆にする</p>	 <p>再度、前後調整のビスを 取り付ける（L勝手の状態）</p>
<p>② 壁付用下部固定金具を壁厚方向の壁面に取り付けます。見切材から5mm離れた所で壁側に固定してください。その際、壁厚方向の壁面には巾木をまわさないでください。</p>	 <p>ビス固定</p> <p>壁付用下部固定金具の取り付け （L勝手の場合）</p>	 <p>見切材 5 巾木はまわさない</p>	 <p>ビス固定</p> <p>壁付用下部固定金具の取り付け （R勝手の場合）</p>	 <p>見切材 5 巾木はまわさない</p>
<p><b>注意</b></p> <p>※壁付用の下部固定金具は別途単品にて手配ください。 ※壁付用の下部固定金具を使用される場合は、取り付ける壁面には巾木をまわさないでください。 ※金物を取り付けた後、左右方向の調整にて戸先側へ寄せてください。</p>				

# □ 2枚／4枚／3枚 固定折れ戸

forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 6 下ローラーの取り付け

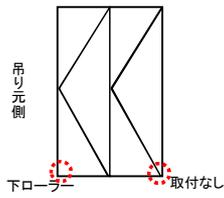
- ① 建具を吊り込む前に、下ローラーを建具の下部小口面に打ち込みスペーサーを使って取り付けてください。  
下ローラーは別途金物箱にあります。



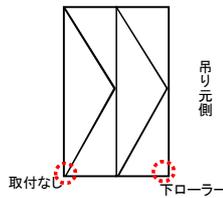
下ローラーの取り付け



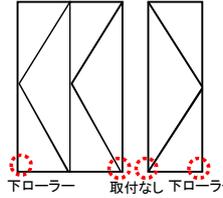
- ② 2枚折戸は吊元側、4枚折戸はそれぞれの吊り元側、3枚折戸は折戸の吊元側と片開き戸の吊元側にそれぞれ取り付けてください。



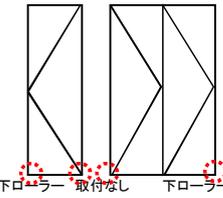
2枚・4枚折戸の下ローラーの取り付け位置 (L勝手)



2枚・4枚折戸の下ローラーの取り付け位置 (R勝手)



3枚折戸の下ローラーの取り付け位置 (左側折戸・右側片開きの場合)



3枚折戸の下ローラーの取り付け位置 (左側片開き・右側折戸の場合)

**注意**

※下ローラーの取り付けは必ず打ち込みスペーサーを使用し、下ローラーの頭を直接叩かないようにしてください。  
(直接叩くと、下ローラーが機能しなくなる恐れがあります)

## 7 建具の吊り込み

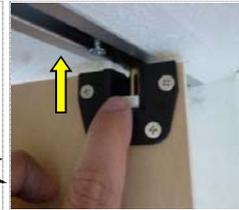
- ① 上ローラーのピンに扉を上を持ち上げながら、ベースカップを片側ずつ差し込みます。その際に確実に差し込んだ「カチッ」という音を確認してください。建具をはずす時は白い樹脂部分を上に持ち上げ、建具をスライドさせながらはずします。



ベースカップに上ローラーを差し込む



カチッという音を確認



建具をはずす際、白い樹脂を持ち上げる



建具をスライドさせる

- ② 吊元側の下ローラーをスライドさせながら、固定金具に差し込みます。その際に確実に差し込んだ「カチッ」という音を確認してください。その後、上ローラーの固定ビスを、レール端部から上ローラー端部まで82mmの所で取り付けてください。



固定金具に下ローラーを差し込む



カチッという音を確認



上ローラーの固定ビスを仮固定



**注意**

※上ローラー・下ローラーが確実に入った事を確認してください。  
※建具を吊り込む際、上ローラー・下ローラーが確実に入るまでは脱落やキズ可能性がありますので、注意してください。

# □ 2枚 / 4枚 / 3枚 固定折れ戸

forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 8 建具の調整・ビス固定

① 上下方向の調整は、上ローラーの横についているビスにて行います。(調整範囲±2.0mm)



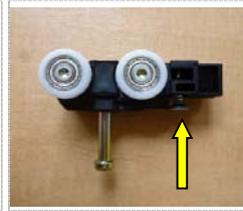
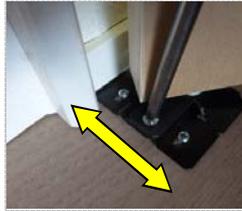
上・下の調整  
時計回りは建具が上がる

上・下の調整  
反時計回りは建具が下がる

前・後の固定  
固定ビスをゆるめてスライド

② 前後の調整は、固定金具の固定ビスをゆるめて、プレートを前後させてください。(調整範囲±2.0mm)

③ 左右方向の調整は、固定金具の真ん中のビスをゆるめて、プレートを前後させてください。(調整範囲±3.0mm)



左右の調整  
真ん中のビスをゆるめてスライド

吊元側の固定ビスを完全固定

吊元側の固定ビス

④ すべての調整が終わったら、上ローラーの固定ビスを完全固定してください。

**注意**

※上下方向の調整は、時計回りが建具が上がり、反時計回りが下がります。  
※固定は必ず手動ドライバーにて行ってください。

## 9 取手・化粧キャップの取り付け

① 取手付の場合、取手によって取付け穴が違います。建具の裏両側共に半貫通の穴があいていますので、勝手に合わせて下穴を貫通させて取り付けてください。その後、化粧キャップを見切材に取り付けてください。(化粧キャップは別途、金物箱にあります)

折れ戸建具裏側

96 mm

110 mm



96 mm用  
取手

110 mm用  
取手



取手の取り付けピッチを確認して下穴貫通  
(取手を穴位置に仮合わせで判別)

取手の取り付け

化粧キャップの取り付け

**注意**

※下穴を貫通させる前に取手の取り付けピッチを確認してください。  
※下穴を貫通させる時は、垂直に穴を開けてください。  
※化粧キャップを取り付ける時は当て木をしてハンマーで叩き込んでください。

# □ 2枚／4枚／3枚 固定折れ戸

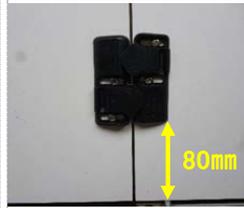
forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 10 振止め・マグネットキャッチの取り付け

① **4枚折戸の場合**  
建具と建具の間に振止めを取り付けます。下端より80mm程度の所に取り付けて下さい。



4枚折戸の振止めの取り付け

**3枚折戸の場合**  
折戸と片開きの間に振止めを取り付けます。下端より100mm程度の所に取り付けて下さい。  
その後、上部マグネットキャッチ受けを片開き扉につけて、マグネットキャッチの位置の固定を行って下さい。



3枚折戸の振止めの取り付け  
(片開きが受け側、折戸が本体)



3枚折戸の上部マグネットキャッチ受けの取り付け  
(片開きが受け／上の木口から2mm、横の木口から10mm離して取り付け)



3枚折戸  
上部マグネットキャッチの固定



**注意**

※3枚折戸の振止めは、受けが片開き側、本体が折戸側となります。

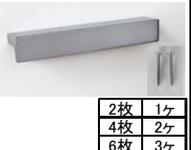
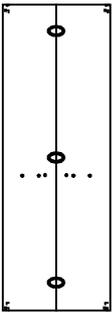
# □ 2枚／4枚／6枚 フリー折れ戸

forステルス枠

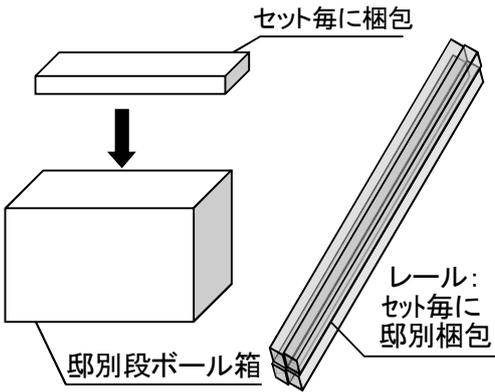
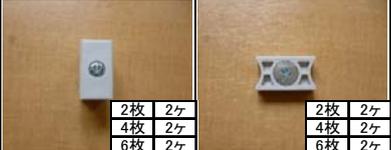
施工手順書2014/4更新  
改訂2017/1

## ■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			取手付きは下記のいずれか																		
部材	数量	備考	同	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>3ヶ</td></tr> </table>		2枚	1ヶ	4枚	2ヶ	6枚	3ヶ	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>3ヶ</td></tr> </table>		2枚	1ヶ	4枚	2ヶ	6枚	3ヶ		
2枚	1ヶ																				
4枚	2ヶ																				
6枚	3ヶ																				
2枚	1ヶ																				
4枚	2ヶ																				
6枚	3ヶ																				
物入フリー折れ戸	1折れ	2枚フリーの場合																			
	2折れ	4枚フリーの場合																			
	3折	6枚フリーの場合																			
 <p>※ベースカップは取付済</p>			梱																		
			品																		

下地材			施工手順書					
部材	数量	備考	同					
見切材	2本							
上枠下地	1本							
			梱					
			品					

下地金物箱			上部レール	下部レール	上部ローラー	下部ローラー																		
部材	数量	備考	同	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1本</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>1本</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>2本</td></tr> </table>		2枚	1本	4枚	1本	6枚	2本	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>4ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>6ヶ</td></tr> </table>		2枚	2ヶ	4枚	4ヶ	6枚	6ヶ					
2枚	1本																							
4枚	1本																							
6枚	2本																							
2枚	2ヶ																							
4枚	4ヶ																							
6枚	6ヶ																							
金物	1式																							
レール	1式																							
 <p>セット毎に梱包</p> <p>レール： セット毎に 邸別梱包</p> <p>邸別段ボール箱</p>			梱	上部ストッパー 下部ストッパー 打込スペーサー																				
			品	 <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>2ヶ</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>2ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>2ヶ</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>2枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>4枚</td><td>1ヶ</td></tr> <tr><td>6枚</td><td>1ヶ</td></tr> </table>			2枚	2ヶ	4枚	2ヶ	6枚	2ヶ	2枚	2ヶ	4枚	2ヶ	6枚	2ヶ	2枚	1ヶ	4枚	1ヶ	6枚	1ヶ
2枚	2ヶ																							
4枚	2ヶ																							
6枚	2ヶ																							
2枚	2ヶ																							
4枚	2ヶ																							
6枚	2ヶ																							
2枚	1ヶ																							
4枚	1ヶ																							
6枚	1ヶ																							

# □ 2枚／4枚／6枚 フリー折れ戸

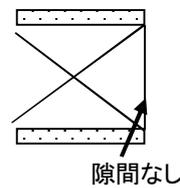
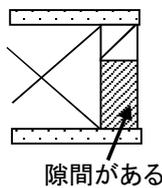
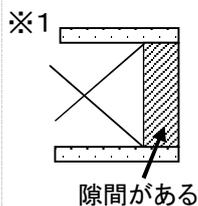
forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 1 施工前の確認事項

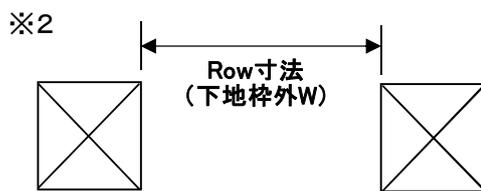
① 上枠下地・見切り材を取り付ける前に、開口部の中（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（見切り材は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



×

×

○



図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認



**注意** ※1：見切り材は躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、見切り材の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。

※2：施工前のW寸法確認には、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。

※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

## 2 上枠下地の取り付け

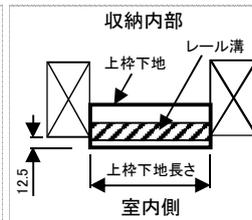
① 上枠下地を接着剤・取付ビス併用にてマグサに固定します。（断面の狭い方が開き側）  
その際、上枠下地は壁のボード面からの位置となりますので、柱面からボード厚み分12.5mm前を出して取り付けてください。（長さは柱から柱の寸法となります）



下地裏面に接着剤全面塗布



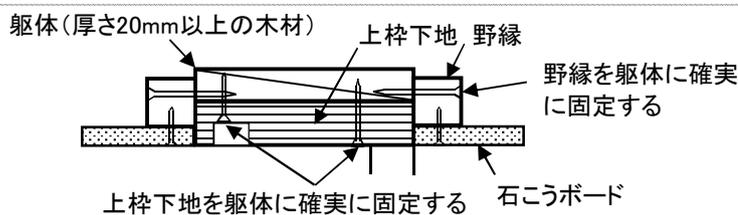
下地表よりビス固定



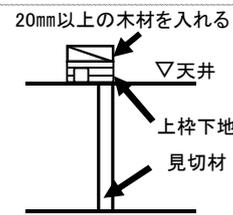
上枠下地の取り付け位置



② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さを確保して、野縁を躯体に固定  
その後、野縁に石膏ボードを取付ける



上枠下地の裏には  
20mm以上の木材を入れる

**注意** ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。（酢ビ系をお奨めします）  
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用してください。また、上枠下地をビス止めする際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。  
※上枠下地の裏側には、必ず20mm以上の木材を入れてください。  
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。

# □ 2枚 / 4枚 / 6枚 フリー折れ戸

forステルス枠

施工手順書2014/4更新

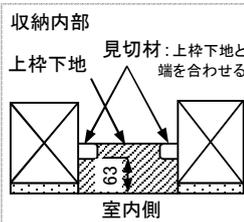
改訂2017/1

## 3 見切り材の取り付け

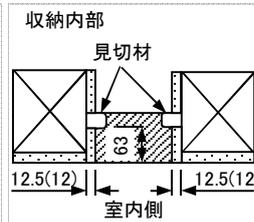
① 見切り材を金物箱と同梱のビスにて柱に固定します。取り付け位置は、ボード面から収納内部に63mm入った所に取り付けます。その際、上枠下地と見切り材の端が合うように取り付けてください。その後、両面から12mmの合板(現場手配品)、または12.5mmの石膏ボードを挟み込んでください。



見切り材の固定



見切り材取り付け位置



見切り材を両面から挟み込む  
(12mmまたは12.5mm)

**注意**

※見切り材を両側から挟み込む際、12mm、または12.5mm以外の物を取り付けると扉が納まらなくなる場合がありますので、注意してください。  
※収納内部に棚を設置する場合は、見切り材から10mm以上離れた位置から取り付けてください。

## 4 巾木・クロス施工 → 塗り壁の場合は別紙塗り壁仕様参照

① 巾木を接着剤にて取り付けてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布



巾木の取り付け方

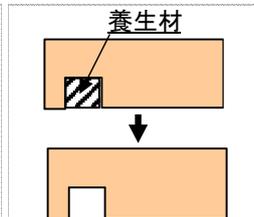
② パテ等の下地処理をした後で、クロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします)  
上枠下地にクロスを貼る際は、レール溝に入っている養生材を取り外してからクロスを貼ってください。



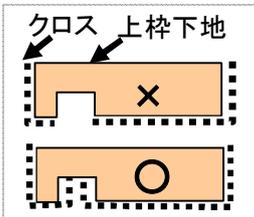
メッシュテープ貼り



パテ処理



養生材を取り外す



クロスの貼り方

**注意**

※巾木は厚さ7mm以外の物を使用すると、折戸の開閉時にあたる場合がありますので注意してください。  
※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き返してください。

# □ 2枚／4枚／6枚 フリー折れ戸

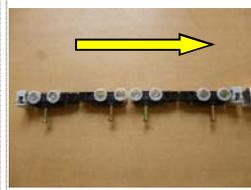
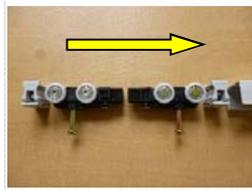
forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 5 上部レール・下部レールの取り付け

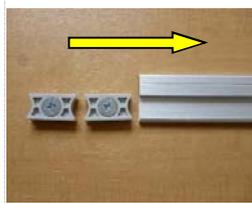
① 上部レールを取り付ける前に、上ローラー・上部ストッパー（3枚の場合は上部マグネットキャッチも）をレールの内部に挿入してレールを取り付けます。  
レール・上部ローラー・上部ストッパー・上部マグネットキャッチは別途、金物箱にあります。



2枚フリー折戸の場合

4枚フリー折戸の場合

② 下部レールを取り付ける前に、下部ストッパーをレール内部に挿入してレールを取り付けます。  
レールは壁面の巾木から18.5mm離れた所に取り付けてください。  
レール・下部ストッパー・下部キャッチは別途、金物箱にあります。



2枚・4枚・6枚  
フリー折戸の場合

下部レール取り付け位置



※4枚折戸の場合は、左右対称の位置となります。  
※下部レールは床埋込みではなく、置型レールなのでフローアからビス止めしてください。

**注意**

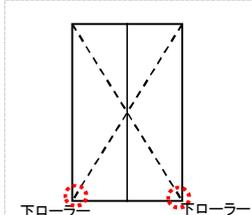
## 6 折れ戸レール・吊車・ストッパー等の取り付け

① 建具を吊り込む前に、下ローラーを建具の下部小口面に、打ち込みスペーサーを使って取り付けてください。  
したローラーは別途金物箱にあります。

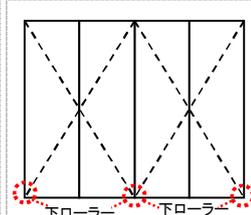


下ローラーの取り付け

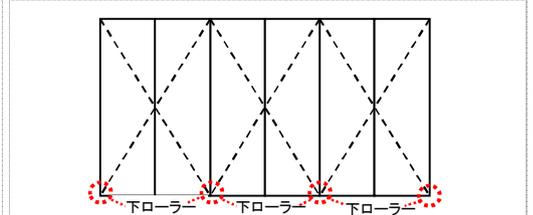
② 2枚折戸・4枚折戸・6枚折戸は、それぞれ1折につき2ヶ所取り付けてください。



下ローラーの取り付け位置  
(2枚折戸)



下ローラーの取り付け位置  
(4枚折戸)



下ローラーの取り付け位置  
(6枚折戸の場合)

※下ローラーの取り付けは、必ず打ち込みスペーサーを使用し、下ローラーの頭を直接叩かないようにしてください。  
(直接叩くと、下ローラーが機能しなくなる恐れがあります)

**注意**

# □ 2枚 / 4枚 / 6枚 フリー折れ戸

forステルス枠

施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 7 建具の吊り込み

<p>① 上ローラーのピンに扉を上を持ち上げながら、片側ずつベースカップを差し込みます。その際に確実に差し込んだ「カチッ」という音を確認してください。 建具をはずす時は、白い樹脂部分を上に持ち上げて、建具をスライドさせながらはずします。</p>				
	<p>ベースカップに上ローラーを差し込む</p>	<p>カチッという音を確認</p>	<p>建具をはずす際、白い樹脂を持ち上げる</p>	<p>建具をスライドさせる</p>
<p>② 下ローラーを下部レールにスライドさせながら差し込みます。その際に確実に差し込まれていることを確認してください。 3枚の片開き戸は、あらかじめ下部レールに挿入してある下部キャッチに、下ローラーをスライドさせながら差し込んでください。</p>				
	<p>下ローラーを下レールにスライド</p>	<p>下ローラーを確実に差し込む</p>		
<p><b>注意</b></p> <p>※上ローラー・下ローラーが確実に入った事を確認してください。 ※建具を吊り込む際、上ローラー・下ローラーが確実に入るまでは脱落やキズの可能性がありますので、注意してください。</p>				

## 8 建具の上下調整・上下ストッパーの固定

<p>① 上下方向の調整は、上ローラーの横についているビスにて行います。 (調整範囲±2.0mm)</p>				
	<p>上・下の調整 時計回りは建具が上がる</p>	<p>上・下の調整 反時計回りは建具が下がる</p>		
<p>② 上・下ストッパーをそれぞれ両側の端で固定します。</p>				
	<p>上ストッパーの固定 (レール端部から7mm離す)</p>	<p>下ストッパーの固定 (レール端部から4.5mm離す)</p>		
<p><b>注意</b></p> <p>※上下方向の調整は、時計回りが建具が上がり、反時計回りが下がります。 ※固定は必ず手動ドライバーにて行ってください。</p>				

# □ 2枚 / 4枚 / 6枚 フリー折れ戸

forステルス枠

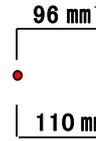
施工手順書2014/4更新

改訂2017/1

## 9 取手・化粧キャップの取り付け

① 取手付の場合、取手によって取付け穴が違います。建具の裏両側共に半貫通の穴があいていますので、勝手に合わせて下穴を貫通させて取り付けてください。その後、化粧キャップを見切材に取り付けてください。（化粧キャップは別途、金物箱にあります）

折れ戸建具裏側



取手の取り付けピッチを確認して下穴貫通  
(取手を穴位置に仮合わせで判別)

取手の取り付け

化粧キャップの取り付け



**注意**

- ※下穴を貫通させる前に取手の取り付けピッチを確認してください。
- ※下穴を貫通させる時は、垂直に穴を開けてください。
- ※化粧キャップを取り付ける時は当て木をしてハンマーで叩き込んでください。